OpenLAB





CAPTURE

ANALYZE

SHARE

Agilent Technologies

AN S

お望みのレポートを簡単に作成できます — OpenLAB インテリジェントレポート

OpenLAB インテリジェントレポートの最大の利点は、標準でイン ストールされているレポートテンプレートを自由にカスタマイズし て、お好みのレポート形式を作成できることです。インストールさ れているレポートテンプレートには、シングルラン用、シーケンス 用のレポートテンプレートが用意されており、それぞれ機能が異な ります。シングルラン用のレポートは、それぞれのデータの結果を 表示します。シーケンス用のレポートは、複数のデータの結果をま とめた形で表示します。





シーケンスレポート

標準でインストールされているレポートテンプレート

レポート名 用途 内容 パフォーマンスレポート *2 分析情報、クロマトグラム、ピーク情報 分析結果を表示する基本的なレポート キャリブレーションレポート 検量線情報を表示するレポート 分析情報、クロマトグラム、ピーク情報、検量線 パフォーマンスレポートより詳細なピーク情報を表示 拡張パフォーマンスレポート 分析情報、クロマトグラム、ピーク情報 するレポート パフォーマンス & ノイズレポート パフォーマンスレポートに S/N を追加したレポート 分析情報、クロマトグラム、ピーク情報 ESTD レポート 外部標準法を用いた結果を記載したレポート サンプル情報、クロマトグラム、ピーク情報 ISTD レポート 内部標準法を用いた結果を記載したレポート サンプル情報、クロマトグラム、ピーク情報 サンプル情報、クロマトグラム、ピーク情報 ESTD 定量レポート 外部標準法を用いた定量結果を記載したレポート ISTD 定量レポート 内部標準法を用いた定量結果を記載したレポート サンプル情報、クロマトグラム、ピーク情報 面積パーセントレポート サンプルの面積、面積%の表示を主としたレポート サンプル情報、クロマトグラム、ピーク情報 シーケンスに含まれるサンプルごとの情報を記載した サンプルサマリレポート サンプルごとの分析結果 レポート シーケンステーブルの情報、サンプルの分析結果、 シーケンスサマリレポート(下記3種) シーケンスを通したまとめのレポート 化合物ごとの面積の平均値、RSD などの統計値な どを記載 表紙、サンプルの一覧、統計レポート (キャリブレー シーケンスサマリレポート(簡易) シーケンスを通したまとめのレポートの簡易版 ションサンプル)、統計レポート(サンプル) 表紙、シーケンステーブル、分析レポート、サンプル シーケンスサマリレポート(標準) ※2 シーケンスを通したまとめのレポートの標準版 サマリ、メソッドサマリ、統計レポート(キャリブレー ションサンプル)、統計レポート(サンプル) 表紙、機器コンフィグレーション、ログブック、シー ケンステーブル、分析レポート、サンプルサマリ、メ シーケンスサマリレポート (詳細) シーケンスを通したまとめのレポートの詳細版 ソッドサマリ、統計レポート (キャリブレーションサ ンプル)、統計レポート (サンプル) CSV レポート *1 外部システムに結果を読み込ませるためのレポート 分析情報、ピーク情報 ISTD グループ *1 内部標準グループを記載したレポート 分析情報、クロマトグラム、ピーク情報 分析情報、MS ライブラリ検索パラメータ、ライブ MS-Libraryserich-Crosspeak *1 MS ライブラリ検索結果表示の標準版 ラリ検索結果 分析情報、MS ライブラリ検索パラメータ、クロマ MS-Libraryserch-Long *1 MS ライブラリ検索結果表示の詳細版 トグラム、ライブラリ検索結果 MS-Libraryserch-Short *1 MS ライブラリ検索結果表示の簡易版 分析情報、ライブラリ検索結果

OpenLAB インテリジェントレポートには、以下のレポートテンプレートが標準でインストールされています。

※1: OpenLAB CDS 2.x のみ ※2: OpenLAB CDS ChemStation のみ

レポートテンプレート編集の流れ

レポートテンプレートを展開後、以下の3つの部分を編集します。 ①データファイル名、メソッドファイル名などの項目の編集 ②クロマトグラムの表示の大きさ、縦軸、横軸などの編集 ③テーブル(表)の表示項目などの編集



①データファイル名、メソッドファイル名などの項目の編集

1. 挿入したい項目をノート部分にドラッグ & ドロップ。



 ドロップした項目を右クリックして「プロパティ」を選択すると、 項目の文字の大きさやフォントなどが変更可能。



②クロマトグラムの編集

1. 挿入したいクロマトグラムの表示形式をノート部分にドラッグ & ドロップ。



 ドロップした項目を右クリックして「プロパティ」を選択すると、 クロマトグラムの縦軸、横軸、ラベル表示などが変更可能。



③テーブル (表)の編集

1. 挿入したいテーブル (表)の表示形式をノート部分にドラッグ&ドロップ。



 ドロップした項目を右クリックして「プロパティ」を選択すると、 テーブル(表)の表示項目、形式などが変更可能。



システム適格性試験(SST)レポート





- 1. レポートテンプレートタブ内の
- 「Sequene_Summary_standard.rdl」 をダブルクリック。



2. シーケンステーブル上で右クリックし、「削除」を選択して、 シーケンステーブルを削除。



②印鑑欄の作成

A.「分析者」、「確認者」、「承認者」 枠の作成

 レポートアイテムから、特殊オブジェクトの中の「テキスト」を ドラッグ&ドロップ。



2. テキスト上で右クリックして「プロパティ」を選択。



3. 表示されたプロパティ画面で値タブを選択し、「fx」 ボタンをクリック。

■ 固定フィールドのコ	プロパティ - FixedText_1	8 🛛	
フォント	値プロパティの	カスタマイズ	
書式			
値	(a :		fx
詳細設定	1.000	-	
条件付き書式			

4. 式エディタで「分析者」と入力して保存。



5. テキスト上の隅にカーソルを合わせ、マウスをドラッグして ボックスの大きさを変更。

•	Ċ.	÷	•	•	•	È	j	i	÷	÷	÷	È	j	
												F	į.	
	· 🗌												h	
						IC	<u>.</u>					Ļ	ŀ	ここをドラッグ
•														

6. 確認者と承認者についても同様に1~5を実施。

B. 印鑑欄の作成

1. レポートアイテムから、特殊オブジェクトの中の 「テキスト」をドラッグ&ドロップ。

	レポートアイテム	ą×
⊕ <u>Iu</u>	クロマトグラム	
	テーノル	
÷.	シーケンス	
۵.	サンプル	
	検量線	
	フィールド	
± 🔂	特殊オブジェクト	
÷ •	チャート	
	メンツト消報	
۳ <u>ع</u>	1786611971	

2. テキスト上の隅にカーソルを合わせ、マウスをドラッグして ボックスの大きさを変更。



3. 確認者用と承認者用についても同様に1と2を実施。

不純物レポート

パフォーマンスレ<u>ポート</u>





総ピーク面積	723.220
主ピーク面積	720.793
不純物ピークの面積%	0.336
判定	合格

TEST-不純物3.RDL [Rev. 13]

印刷日時: 2015/07/29 18:52:01

デモとして、不純物ピークの面積%の閾値を2%に設定

①主ピーク面積と総ピーク面積の定義

A. 主ピーク面積の定義

 レポートレイアウトのテーブル→ピークと化合物の 中にある「ピーク結果」をドラッグ & ドロップ。



2. 表を右クリックして「プロパティ」を選択。



3. 画面中の「列のプロパティ」ボタンをクリック。

列のプロパティ

4. 値の「fx」 ボタンをクリック。

ላታቻ-ቻጵአት።	3 4	te
8-	mairgeak: +ビー2.面積	tr.
オブータも表示しない		

5. 式の変数名に「= ピーク_面積」を入力して、 「式の結果を別の名前で保存」ボタンをクリック。

- 8
ja ja

6. 計算変数名に「mainpeak」を入力して保存。

 フィルタで、式に「= 化合物_名」、演算子に 「=」、値に「"sample"」を入力。



8. 詳細設定で、表示設定の「表示する」チェッ クをオフ。



B. 総ピーク面積の定義

 レポートレイアウトのテーブル→ピークと化合物 の中にある「ピーク結果」をドラッグ&ドロップ。



2. 表を右クリックして「プロパティ」を選択。

列のプロパティ	
ロック	
ロック解除(N)	
プロパティ(R)]
	列のプロパティ ロック ロック経除(N) プロパティ(R)

列のプロパティ

3. 画面中の「列のプロパティ」ボタンをクリック。

4	集計計算で、	「合計」	チェック	をオンにして、	
	ラベルに「今日	十一	名に [aro	acum を入力	
		山、夕奴		asulli CVV)	С

	季計計算プロパティの力			
7428	UNIT OF ALL ST		_	
ヘッダーの書式	01011	and a		
1808	Maran 2			^
Marante	CERTIFICATION OF THE PARTY OF T	5456	実験者(サアンム)	
	10 dat	44	and the second	
1000	1.010	(株小道)		_

5. 詳細設定で、表示設定の「表示する」チェック をオフ。

91	詳細プロパティのカスタマ・
ピークと接り返し	
並べ替え	三 表示する
71149	ページ医師
クループ	テーブルの前にページ区なりを テーブルの前にページ区なりを テーブルの前にページ区のかを
表式	有于年天上盘し
スタイル	■ テーブルデータが有効でない時
詳細設定	942k
	ドキュメントマップ

②計算結果のレポートへの追加

A. 総ピーク面積値の追加

 レポートレイアウトのフィールド→ピークの 中にある「面積」をドラッグ & ドロップ。



2. 追加した項目を右クリックして「プロパティ」を 選択。

	列のプロパティ
	ロック ロック解除(N)
С	プロパティ(R)

3. ラベルを「総ピーク面積」に書き換え。

ラベル	ラベル		^
44	5KU :		
ラベルの書式	フォント書式		~
値の書式	ファミリー: MS Pゴシック		
詳細設定	Winedines Winedines Winedines 3	 サイズ: スタイル: 	10 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
条件付き書式	メイリオ MS ゴシック MS 問題	太さ:	標準 ▼

4. 値の編集画面で「=areasum」を入力。

ラベル	値のフォントブ	ロバティをカスタマイズ
4		
ラベルの書式	18 :	areasum

B. 主ピーク面積値の追加

- 1. ②の A.1 と A.2 の操作を行う。
- 3. ラベルを「主ピーク面積」に書き換え。



4. 値の編集画面で「=mainpeak」を入力。



C. 不純物ピークの面積 % 値の追加

- 1. ②の A.1 と A.2 の操作を行う。
- 2. 値の編集画面で、

<pre>FRS := ((areasum-mainpeak)/areasum) *</pre>	*100」	を入力。
--	-------	------



3.計算変数名に「RS」を入力。

(6) 实数	
● 集合変数	
● カスタムエクストラクタ	
計算実動のプロパティ	
計算変数名:	RS

D. 判定の追加

1. ②の A.1 と A.2 の操作を行う。

2. 値の「fx」 ボタンをクリック。



3. 式エディタで、

「=IIF (RS<3."合格"."不合格")」を入力して保存。 * 不純物ピークが3%未満なら合格、3%以 上なら不合格と表示される計算式です。



判定付きレポート

判定付化合物結果(シーケンスサマリレポート)





基準値

ベンゼン	2.00]
トルエン	10.20]

②基準値 基準値には下限値を設定していますが、範囲を設定することも可能。 基準値を変更する場合には、レポートテンプレート内の基準値を変更。

化合物名 ベンゼン

	サンプル名	保持時間 [分]	ピーク幅	面積	高さ	濃度 [ng/ul]
1	再現性サンプル	11.447	0.020	516.2337	399.9391	2.000
1	再現性サンプル	11.447	0.021	514.949	394.4178	1.995
1	再現性サンプル	11.448	0.021	528.4286	406.1231	2.047
1	再現性サンプル	11.447	0.020	513.7901	392.5465	1.991
1	再現性サンプル	11.448	0.020	535.1037	411.8769	2.073

化合物名 トルエン

	サンプル名	保持時間 [分]	ピーク幅	面積	高さ	濃度 [ng/ul]
1	再現性サンプル	13.287	0.018	2519.3979	2177.2207	10.000
1	再現性サンプル	13.287	0.018	2519.2905	2172.5161	10.000
1	再現性サンプル	13.287	0.018	2581.9165	2242.7595	10.248
1	再現性サンプル	13.287	0.018	2521.7312	2172.7935	10.009
1	再現性サンプル	13.287	0.018	2623.0469	2259.4985	10.411

3表

濃度が基準値より小さい場合に、セルの背景色を赤色で表示。 背景色だけでなく、文字色の変更、太字、斜体などに変えることも可能。

SeqSum_化合物_判定付4.rdl [Rev. 22]

ページ1/1

①クロマトグラムの作成

 クロマトグラムの中の「シグナルプロット」を ドラッグ&ドロップ。

□ 🛄 クロマトグラム		
	54	
— WS 化合物結果		
	771	50
	14	(重
	יחע לוח:	いってい
- 🛄 シグナルプロット	2.0	
- 🛄 フラクション		
システムスータビリラ	17	יםל
画 = テーフル		
由… マトリックス		

2. クロマトグラム上で右クリックして 「プロパティ」を選択。

グリッドに合わせる	(A)
アライメント	•
サイズを揃える	•
左右の間隔	
上下の間隔	•
グループ化(G)	
グループ解除(U)	E
移動(V)	
削除(D)	
ロック	
ロック解除(N)	
プロパティ(R)	

3. ピークラベルで、「リテンションタイム」と 「化合物」を選択。

マルチシグナル			
ビークラベル	ピークラベル		
	5KU 1:	リテンションタイム	• fx
シグナル釉	ラベル 2:	化合物名	fx
時期軸	ラベル 3:	5<140	fx
	ラベル 4:	ラベルなし	fx
<i>PL0</i> 1	フォント:	MS Pゴシック&75-標準	フォント。
機器カープ	── ラベルをマージする	ラベル区切り文字:	
7/14	◎ デフォルトの色	 色を指定: 	·

4. シグナル軸のスケールの設定方法で、n 番目に 高いピークを「1」に、% を「100」に設定。

ピークラベル	አ ታール		
シグナル植	● シグナルにすべて同一のスケールを使用	スケールの設定方法:	
	◎ 谷シヴナルにフルスケール (100%)を使用	 n 番目に高い積分ピーク: 1 %: 100 	
時期輪		◎ 最大シグナル	_
RM		スケールの検索範囲:	
機器カープ		・ フルタイム範囲	

5. 時間軸のスケールの設定でカスタムスケールを 選択し、

開始に「= ピーク_ リテンションタイム - 0.5」 終了に「= ピーク_ リテンションタイム + 0.5」 を入力。



 6. 凡例で、ラベル名に「= 注入 _ データファイ ルディレクトリ+注入 _ データファイル名」 を入力。

時間輪	表示設定		
	夏 うべルを表示する		
RØI	ラベルを使用する	ミネス データファイルディレクトリ・キス データファイル名 🍷	fx
機器カープ	7821	MS Pゴシックキ標準	フォントー

 フィルタで、式に「注入 _ 順序番号 mod 2」、 値に「=0」、奇数番号を表示させる方の演算子 には「<>」、偶数の方には「=」を入力。



②基準値の作成

 特殊オブジェクトの中の「テキスト」を ドラッグ & ドロップ。

レポートアイテム		
歯 🚾 テーブル		
亩 🔚 マトリックス		
由 🚮 シーケンス		
⊕ 📑 サンブル		
। ≝ 検量線		
□- └ スペクトル		
	_	
日 100 特殊オノジェクト	_	」この中にあります
11 一 178 178 178 178 178 178 178 178 178 178		

- 2. テキスト上で右クリックして「プロパティ」を 選択。
 - ロック ロック解除(N) プロパティ(R)
- 3. 値に「=" 基準値 "」を入力。



4. 適当なフィールド (例えば化合物名) を ドラッグ & ドロップ。

|--|

5. ドロップした項目を右クリックして 「プロパティ」を選択。

ロック
ロック解除(N)
プロパティ(R)

6. ラベルを「ベンゼン」に書き換え。

ラベル	ラベル		
値	5×11:		
ラベルの書式	フォント書式		
値の書式	ファミリー: MS Pゴシック	10	
詳細設定	Winedines Winedines 2 Winedines 3	 サイズ: スタイル: 	10
条件付き書式	メイリオ MS ゴシック MS 明明	二 太さ:	標準 -

 値の「fx」をクリックし、式に「=2.0」(基準値) を入力後、「式の結果を別の名前で保存」をク リック。

	値		A
<u>ه</u>	1道:	BZ:=2.0	fx
ラベルの書式	7 🖪 式エディタ	10 mil	0 ×
値の書式	21		
詳細設定	-20		*
条件付き書式			式の結果を別の名前で保存
	グローバル パラメータ	115月日日 ページ数	しますートの作成を開始した日付と時

8.「変数」を選択し、計算変数名に「BZ」を入力し、 「保存」をクリック。

計算変数		
 ③ 変数 		
◎ 集合変数		
カスタムエクストラクタ		
計算変動のプロパティ		
計算変数名:	BZ	
一意のキー値:		v
条件:	[+

③表の作成

1. テーブルの中の「化合物結果」 をドラッグ & ドロップ。



2. 表を右クリックして「プロパティ」を選択。

列のプロパティ	
ロック ロック解除(N)	
プロパティ(R)	

 3. 並べ替えで、式に「= 注入 _ 順序番号」、 順序に「昇順」を入力。

M clim	3E/YBA9AP		
聖八貴え	一式	順序	
フィルタ	=注入」順序番号	▼ 昇順	

- 4. 濃度の列のプロパティを開く。
- 条件付き書式の背景色で、 式に「= 化合物 _ アマウント -BZ」、 演算子に「<」、値に「0」を入力。 「条件を満たす場合に適用する設定」で、 赤を選択。

暂暴色		^
式	演算子値	
条件を満たす場合に適用する設定:		•
	容易色 式 -1と合物、アマウント-B2 メ ー 本 合い、地用する。設定 高件も読んす場合に、適用する。設定	¥景色 「て、「花菜子 信」 「花 合物、デマウントロズ」・C 0 ・C 0 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

- 6. 表の上に化合物フィールドをドラッグ & ドロップ。
- 7. 表と化合物フィールドをグループ化。

	サンプル名	100000000	2-26	ALC: NO	100	調査であんの
1	再現性サンブル	11147	8.028	616.2397	199.0291	2018
1	#1276-10">1711	11447	1071	514 949	154 4170	1645

- 8. グループを右クリックして「プロパティ」を選択。
- 9. フィルタで、式に「=化合物_名」、演算子に「=」、 値に「="ベンゼン"」を入力。



- 10. ベンゼンのグループをコピーし、トルエン用の 表を作成。
- 11. コピーしたグループ内のテーブルの プロパティを選択。
- 12. 濃度の列のプロパティを選択。
- 13. 条件付き書式で、「BZ」を「TOL」に書き換え。
- 14. コピーしたグループのプロパティを選択。
- 15. フィルタで、「ベンゼン」を「トルエン」に 書き換え。

スペクトルレポート



ページ1/1



作成

フラクショ

テーフル マトリックス

移動(V)

削除(D)

ロック解除(N)

プロパティ(R)

Tw/

レイアウト

マルチシグナル

ピークラベル

シグナル軸 BABB

機器カーフ

フィルタ

ロボートソイス テーブル マトリックス シーケンス

社会報

本語を見ていた。

本語を見ていた。

■ ■ チャート
 ■ ◆ メソッド情報
 ■ ◆ 機器情報

チェックをオン。

レイアウト

スペクトル

レスポンス刺

スペクトルラベル

📝 極大波長にラベルする ■ 極小波長にラベルする

波長軸

フィルタ

並べ替え

マルチスペクトル

フィールド 特殊オブジェクト

÷...

て、他のピークとスペクトルを表示。

4

-

局方レポート

パフォーマンスレポート





TEST-YONE-JPV3.RDL [Rev. 39]

印刷日時: 2015/06/24 19:31:31

ページ1/1

レポートテンプレートからテーブルを編集

1. レポートレイアウトのレポートテンプレートタブから 「Performance.rdl」をダブルクリック。



 レポートレイアウトのテーブル→ピークと化合物の中にある 「ピーク結果」をドラッグ&ドロップ。



3. 表を右クリックして「プロパティ」を選択。



4. 使用可能フィールドのピークの中にある「分離度_JP」を選択後、 「右矢印」ボタンをクリックして、分離度_JPの列を追加。

使用可能フィールド

⊟ <mark>-</mark> フィールド	
白 カスタムフィールド	
歯・シーケンス	
歯 サンプル	
■·注入	
■ シグナル	>
■ 化合物	
● 検量線	
● 機器	
⊡ · プロジェクト	

- 5. 同様に、ピークの中にある「理論段数 _JP」と「テーリングファクタ」 (シンメトリー係数に該当)も選択後、右矢印ボタンをクリックして それぞれの列を追加。
- 6. 画面中の「列のプロパティ」ボタンをクリック。

列のプロパティ

7. テーブルレイアウトに追加されたテーリングファクタの列のヘッダを ダブルクリックし、「シンメトリー係数」を入力。

テーブルレイアウト

赤枠の部分カ	="77ウント	RF	高さ	面積
列のヘッダ	<値>	<値>	<値>	<値>
	<値>	<値>	<値>	<値>
	<値>	<値>	<値>	<値>

8. テーブルのプロパティの画面下部にある「OK」ボタンをクリック。

マルチテーブル行			^
🗌 追加するヘッダー行を有効にする			
	OK(0)	キャンセル(C)	適用(A)

9. USP 用の表に分離度 _USP、理論段数 _USP、テーリングファクタ (シンメトリー係数)の列を追加する工程を、EP 用の表に分離度 _EP、 理論段数 _EP、テーリングファクタ (シンメトリー係数)の列を 追加する工程を、JP の場合と同様に 2~7 を繰り返す。

リテンションタイムとピーク面積の安定性

シーケンスサマリレポート

Agilent Technologies





テストパブル.RDL [7]

バブルチャートの作成

1. チャートの中の「リテンションタイムの安定性(化合物ごと)」を ドラッグ&ドロップ。



2. クロマトグラム上で右クリックして「プロパティ」を選択し、 チャートのプロパティをクリック。

移動(V) 削除(D)	
ロック	
ロック解除(N)	
プロパティ(R)	

3. チャートタブの、チャートタイプの選択のところで「バブル」を選択。

r-r	チャートタイプのカスタマイズ		
,			
ットライン	3		
6	79-17-1703401 · 11/7-		
UD RE	91h#		
	タイトル メインタイトル: 医核の安定性(化合物ごと)	tx .	沈香
目記定 ミスタイル		fx fx	お式 表式
1297A 1797A	9イトル メインタイトル 数体の安定性(化合体にと) X-種分(トル: 加定(株体 Y-種分(トル: 77:20)のタイム	fx fx fx	沈香 沈香 沈香
11日日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11	9イトル メインタイトル: 副体の完定性(化)におねこと) ストロシイトル: 第に回称す 11-目的イトル: 75ンパルクイム	fx fx fx	活客 大春 大春 大春

4. タイトルで、チャートのメインタイトルに「面積の安定性(化合物ごと)」、 X軸に表示させるラベルに「測定順序番号」、Y軸に表示させるラベルに 「リテンションタイム」を入力。

-r-	チャートタイプのカスタマイズ		
5-13			
ノミットライン	チャートライブの爆択: 217ル		
1.01			
非相談定	91F#		
157014	メインタイトル: 画稿の安定性(化合物こと)	tx	沈香
	X-485/11-12 测定调评	fx	表式
スタイル	¥-種タイトル: リテンションタイム	tx	方書

5. データタブで、X 軸を選択で「サンプル _ 測定順序番号」、Y 軸を選択で 「ピーク_リテンションタイム」、サイズを選択で「ピーク_面積」を選ん だ後、それぞれ「右矢印」ボタンをクリック。

Fr-h	輪のカスタマイズ	
7-9		
リミットライン 凡府 詳細設定 目盛スタイル	× (法を提供:	-
2911 7119	○個化規則: ○ 27-5月 ○ 3556,27-5月 ○ 3556,27-5月 ○ 1556,27-5月 ○ 1556,27-5月 ○ 1556,27-5月 ○ 1557,275,275,275,275,275,275,275,275,275,	-
	サビスを留け: □ 20-0-6月 □ 20-0-6月 □ 32-0220-0-6月 □ 42-02 □ 42-02	-
	平-市道办702年。(0)	

OpenLAB ソフトウェアで開かれる未来

ラボ管理を効率化する OpenLAB ソフトウェア製品群により、データ収集、解析、共有を通じてビジネスの 価値を高めることができます。また、アジレントと知識豊富なプロフェッショナルサービスコンサルタントが、あら ゆる段階でお客様をサポートします。豊富な製品群と充実したサポートにより、お客様のラボのさらなる効率アッ プを実現します。

クロマトグラフィーデータシステム — OpenLAB CDS

- ・アジレント製とアジレント製以外の両方の機器を制御
- ・データ解析およびレポート作成の高速化
- ・ラボ全体を一元表示できるビューで機器を監視
- ・ラボと IT のプロセスを合理化

データ管理 — OpenLAB ECM

- ・時間や場所に関係なく、データと情報にアクセス可能
- ・実験の開始から終了までファイルを保護
- ・規制遵守の業務をサポートし、知的財産を管理
- ・紙の使用量を削減

電子ラボノート — OpenLAB ELN

- ・複数の分析システムからラボの結果を取得
- ・高度なクエリ管理による、迅速なデータの検索が可能
- ・共同研究や共同作業の簡素化
- ・知的所有権の保護と記録のトレーサビリティの維持

カストマトレーニングコース — OpenLAB University

ラップトップ PC を使用して、インテリジェントレポートの概要 とテンプレートの作成方法を学習することができるトレーニング コース、「OpenLAB CDS ChemStation/EZChrom インテリジェ ントレポートの使い方」を開設しています。

詳しくは、https://www.chem-agilent.com/customertr/?cat=29 をご覧いただくか、コールセンター(0120-477-111)または弊社販 売店までご連絡ください。



アジレント・テクノロジー株式会社

本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1 カストマコンタクトセンタ **20**0120-477-111 email_japan@agilent.com

www.agilent.com/chem/jp ©アジレント・テクノロジー 2017 Printed in Japan. March 1, 2017 5991-6805JAJP



Agilent Technologies